

P2023年9月22日

各位

株式会社エンバイオ・ホールディングス
代表取締役社長 中村 賀一
(コード番号:6092)
問合せ先 取締役管理本部長 田月 智之
(TEL 03-5297-7155)

Alamport Renewables Inc.との資本提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、アラムポート株式会社(東京都千代田区、代表取締役 小谷 文人、以下「アラムポート」という。)の100%子会社である Alamport Renewables Inc.(シンガポール、代表 小谷 文人、以下「AR 社」という。)と資本提携を行うこと、および、当社の自然エネルギー事業の一環として、AR 社を通じてインドネシアにおけるエネルギー開発案件の投資を行うことを決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 資本提携の背景と目的

当社は、1999年の創業以来、環境保全に貢献する事業に継続して取り組んでまいりました。土壌汚染をエンジニアリングで解決する土壌汚染対策事業、汚染された土地の有効活用を目指すブラウンフィールド活用事業、太陽光発電などによる自然エネルギー事業です。汚染地の再生とは別の切り口で土地を有効活用するアプローチとして2014年より開始した自然エネルギー事業では、再生可能エネルギーを利用した発電事業を行っており、国内外で46発電所、46MWの規模に拡大しております。また、海外でもバイオマス・ガス化発電所をトルコで商業運転を開始しており、再生可能エネルギー事業の技術力及び海外事業展開のノウハウを有しております。

インドネシアは、水力をはじめとした再生可能エネルギー事業のポテンシャルが極めて高い一方で、技術面、財務面、現地企業とのパートナーシップ等の課題により、事業化が十分に進んでいない現状があります。アラムポートは、「インドネシアにおける再生可能エネルギーのリーディングハブとなる」ことをミッションに掲げ、案件状況に応じて時にはコンサル・アドバイザー、時にはディベロッパー、投資家として、多くの案件が事業化されるよう取り組んでおります。今回のAR社との提携を通じて、当社が有する事業ノウハウや信用力を生かし、これまでアラムポートが構築してきたインドネシアでの現地ネットワーク及び現地に根付いた実行力を連携させ、インドネシアでの水力発電事業及びその他の再生可能エネルギーへの投資・事業開発を拡大し、その他日系企業との共同投資機会の創出、現地社会・コミュニティに貢献して参ります。

また、本資本提携により、AR社の増資72,745,400円(490,000USDを2023年9月21日為替レート1ドル148.46円で換算、シェア49%)を引き受けることに加え、投資実行に応じて最大593,840,000円(4,000,000USDを2023年9月21日為替レート1ドル148.46円で換算)の償還権付優先株式を引受け、AR社に投資資金を拠出する予定であり、当社の中期経営計画で掲げる自然エネルギー事業の100MW構想の達成実現を目指して参ります。

2. Alamport Renewables Pte. Ltd.,の概要

(1) 名称	Alamport Renewables Pte. Ltd.,
(2) 所在地	160 ROBINSON ROAD #14-04 SINGAPORE, 068914
(3) 代表者の役職・氏名	代表 小谷 文人
(4) 事業内容	インドネシアにおける主に小水力・水力発電所案件へのマジョリティ/マイノリティ投資・共同開発、及び水力発電地場ディベロッパーホールディングス会社(地場デベ HD)への投資
(5) 資本金	33,463,329 円 (2023 年 2 月 28 日現在) ※225,403.00USD を 2023 年 9 月 21 日為替レート 1ドル 148.46 円で換算
(6) 設立年月日	2022 年 3 月 1 日
(7) 直前事業年度の純資産	34,256,392 円 (2023 年 2 月 28 日現在) ※230,744.93USD を 2023 年 9 月 21 日為替レート 1ドル 148.46 円で換算
(8) 直前事業年度の総資産	79,873,579 円 (2023 年 2 月 28 日現在) ※538,014.14USD を 2023 年 9 月 21 日為替レート 1ドル 148.46 円で換算
(9) 大株主及び持株比率	アラムポート株式会社 100%
(10) 決算月	2 月
(11) 上場会社と当該会社との間の関係	
資本関係	本資本提携により、当社の持株比率は 49%となる予定であります。
人的関係	本資本提携により、当社取締役 横溝透修及び当社取締役 田月智之が当該会社の取締役に就任予定であります。
取引関係	該当事項はありません。

※2023 年 2 月期の経営成績に関する決算情報につきましては、相手方の意向を踏まえ非公開としております。

3. アラムポート株式会社の概要

(1) 名称	アラムポート株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 6 階 GOODOFFICE 有楽町
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小谷 文人
(4) 事業内容	インドネシアでの水力発電事業及びその他の再生可能エネルギーへの投資・事業開発
(5) 資本金	2,700 万円(2023 年 8 月末日現在)
(6) 設立年月日	2015 年 3 月 2 日

4. 日程

取締役会決議日	2023 年 9 月 22 日
契約締結日	2023 年 10 月(予定)
増資実行日	2023 年 10 月(予定)

5. 今後の見通し

本件が 2024 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

以上

添付資料



今回の投資の目的 = 新たに「水力発電」に事業分野を、 そして「東南アジア」に事業領域を広げる

事業分野

展開場所

セグメント

事業分野	展開場所		セグメント
	国内	海外	
A 太陽光発電	○	○	自然エネルギー事業
B バイオマス発電	○	○	自然エネルギー事業
H 水力発電		○	自然エネルギー事業
C 土壌汚染対策事業	○	○	土壌汚染対策事業
D ブラウンフィールド活用事業	○		土壌汚染対策事業
E 水資源開発事業		○	自然エネルギー事業
F 水処理サービス	○	○	土壌汚染対策事業 自然エネルギー事業
G 地下水汚染処理	○	○	自然エネルギー事業
H 水力発電		○	自然エネルギー事業

水力発電事業への進出目的

項目

内容

意義

- 自然エネルギー事業におけるエネルギー源の拡充
- 事業分野としての水ビジネスの拡充
- 東南アジア進出への拠点の確保
- 資産の増加が企業価値の向上に直結すること狙う

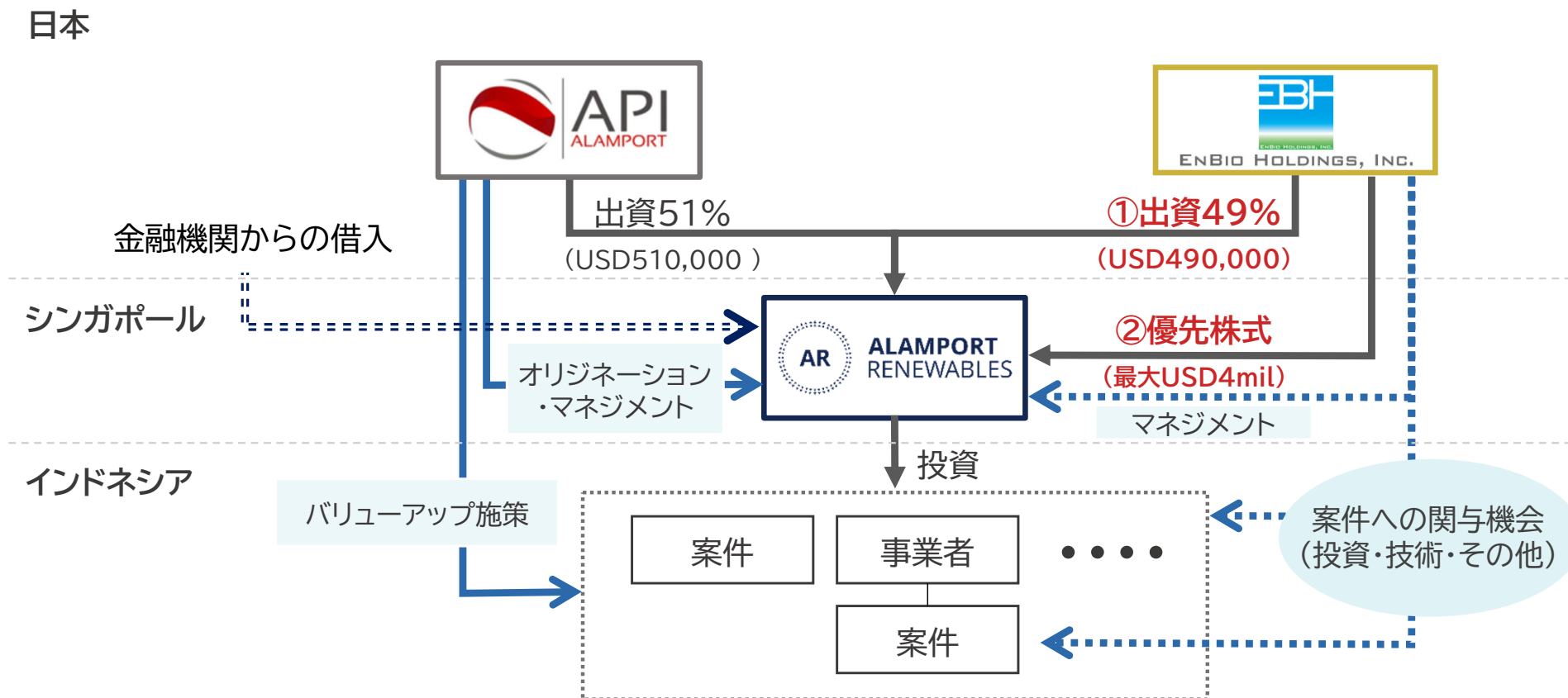
事業としての可能性

- 自然エネルギー事業の目標である100MW構想の実現可能性が一気に高まる。
- 水力発電事業に対する投資の新たな視点として、プロジェクト投資に加え、事業運営会社への投資により、投資効率を上げられる(レバレッジが効く)

事業スキーム

USD 1 Millionの出資金、優先出資 USD 4 Millionを元にAlamport Renewables(AR)を通じてインドネシアの主に水力案件・事業者に投資を行う

事業スキーム



ARの目指すところ

インドネシアの再エネ事業者とのネットワークを活用して、開発デベHDへの出資、及びクラブディールによる個別案件への投資参画、共同開発を行い、良質な案件の開発を行う

成長可能性の高い地場事業者に投資、良質な開発と資金調達に貢献することでIPO等を実現させていく

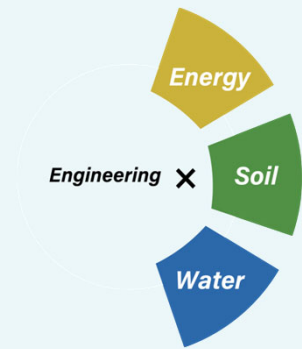


マジョリティ/マイノリティによる個別案件の開発・投資、案件に応じた戦略的参入(出資比率、関与・役割)

市場におけるARのプレゼンス確保、良質な戦略案件への出資機会の確保、並びにキャピタルゲインの実現

個別案件ベースでの安定的キャッシュフロー、一部案件売却によるキャピタルゲインの実現オプションという柔軟性確保

グループの収益源の多様化(特にストック収益の増加)が促進される



収益源

フロー C D E
ストック A B F G H

※記号はP.4を参照ください

ストック(アセットの確保)

2023年6月末現在

国内	合計	42MW
海外(※)	合計	5MW

太陽光発電	国内	42.2MW
	海外	3.5MW
バイオマス発電 (トルコ)		1.9MW



2027年3月期想定

国内	合計	70MW
海外(※)	合計	94MW

太陽光発電	国内	70MW
	海外	40MW
バイオマス発電 (トルコ)		1.9MW
水力発電 (インドネシア)		52MW

※海外のMW数は、関与発電容量であり、当社シェア考慮前です。

【参考】他社事例(資産規模と時価総額の参考事例)



国内インフラファンド①

時価総額

約74億円

パネル出力合計

約30MW



国内インフラファンド②

時価総額

約165億円

パネル出力合計

約70MW



海外上場(インドネシア) 水力発電事業者

時価総額
(ジャカルタ市場)

約295億円

発電出力合計

約54MW

※当社の水力発電の想定MW数は、関与発電容量であり、当社シェア考慮前ですので、単純比較とはならないことにご留意ください。